

平成23年度 第2回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成23年11月9日(水) 13:30～15:00
- 2 開催場所 さんぼく会館 集会室
- 3 出席委員 佐藤勝敏、佐藤均、富樫保晴、斎藤寅二、佐藤仙太郎、國井千壽子
佐藤貞榮、本図悟
- 4 欠席委員 富樫榮晴、平方一生、板垣孝一、富樫賢一
- 5 出席職員 本庁 相馬政策推進課長、竹内自治振興室長、船山係長
支所 加藤市民生活課長、菅原地域福祉課長、佐藤産業建設課長、
大滝教育事務所長
(事務局) 斎藤支所長
自治振興室 斎藤室長、板垣副参事、村山主査、青木主任、渡辺主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第2回山北地区地域審議会 次第

日 時：平成23年11月9日（水）13:30～

会 場：さんぽく会館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 諮 問

4 議 事

（1）諮問内容について

（2）答申に向けての今後の進め方について

5 その他

（1）山北地区地域まちづくり協議会についての住民懇談会結果と今後のスケジュールについて

6 閉 会

会 議 経 過

1．開会（13:30）

事務局； 本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

本日は平方一生委員、富樫賢一委員、板垣孝一委員、富樫榮晴委員から欠席の連絡が入っております。

開会に先立ち、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

それでは、平成23年度第2回山北地区地域審議会を開会いたします。まず最初に佐藤会長からごあいさつをお願いいたします。

2．会長あいさつ

会 長； 今日は大変お忙しい中、平成23年度第2回山北地区地域審議会にご出席いただきありがとうございます。本日は、今回諮問されます第1次村上市総合計画の後半4年間の実施計画の見直しに向けて、特に力を入れて取り組むべき施策の方向性を示す「定住の里づくりアクションプラン」素案についてを主な議題としておりますのでよろしく申し上げます。

3．諮問

事務局； 続きまして諮問でございます。本来であれば市長が直接、佐藤会長に諮問書を手渡すべきであります。市長の日程調整がつかみませんので、市長に代わりまして山北支所長から佐藤会長に諮問書をお渡しいたします。

【山北支所長より会長へ諮問書の手渡し】

事務局； ありがとうございました。

これから会議に入らせていただきますが、会議の議長は会長が務めることになっておりますので、会長に議長をお願いいたします。

4．議事

（1）諮問内容について

会 長； それでは議事に入ります。（1）諮問内容についてを上程いたします。事務局から説明をお願いします。

事務局； 【（仮）定住の里づくりアクションプラン（素案）の説明】

会 長； なかなか難しいという印象を受けますが、みなさんから質問、ご意見ありましたらお願いします。

委 員； 産業の活性化の部分が聞き取れなかったのもう一度説明をお願いします。

事務局； 農商工連携と農林漁業の6次産業化とあり、どちらも同じと思われませんが、農商工連携は農林水産業と商工業と一緒に事業をしようというものです。6次産業化は1次産業の農林水産業、2次産業の製造、加工業、3次産業の販売を合わせて6次産業化ということになります。

どこが違うのかといいますと、極端な話になりますが、農商工連携は農林水産省の部分と経済産業省の部分が一緒になって事業をしようということです。6次産業化は農林水産業の方が2次産業、3次産業もすることによって所得を増やそうということです。事業によっていろいろな選択肢があり、どちらも大切なもので、行政の支援が欠かせないと考え、記載させていただいたものです。

委員； ありがとうございます。

委員； 具体的な例として、神林商工会で行っているのが農商工連携の事業です。神林でお米を生産し、加工してスイーツとして提供してみようというものがあります。これは農業の方が農業をしながらお米を加工し販売するというものです。小さくても数多く作っていく6次産業化がこの地域には合っていると思います。素材はたくさんあるので、素材を製品に、製品を商品にするというところにもう少し支援をしてほしいと思います。

会長； そのほかご質問等ありますか。

委員； アクションプランとして並べるのではなく、一つひとつ検討をし、改善点を出していかなければならないと思います。検討の仕方を工夫していかなければ提言もなかなかできないと思います。

事務局； 本来であれば、検討した結果、どう改善していくかということを示さなければならぬと思いますが、総合計画を立ち上げたときに8年間の計画を立てさせていただきました。8年間の基本計画を作りましたが、時勢の変化などもあり、後期計画で特に力を入れなければならないものについてみなさんの意見を聞いて、もう一度しっかりと固めなければ、時代の流れについていけないということで今回の地域審議会を設けさせていただきました。

ご指摘はごもっともでございます。今までできてない部分、あるいはさらに力を入れなければならないというものを方向性という形で出させていただきました。本来のやり方からずれがあるかもしれませんが、これから新たに、あるいはさらに力を入れていかなければならない施策の方向性について、ご意見を頂戴したいと思います。

会長； ありがとうございます。これからこういう方向性で行くということを示したという説明でした。そのほかありますか。

事務局； 合併から事業は何百という種類があります。その中でこれから力を入れていかなければならないものを明確に出す必要があるのではないかと考えてみました。6次産業化などについても事務局だけで考えるのではなく、実際に実施しているみなさんのご意見をいただくことで、支援も上手くできるのではないかと考えますので、いろいろなご意見をいただきたいというものであります。

会長； ありがとうございます。ほかにありませんか。

委員； 山北地区として、まず何から取り組んでいくべきという考えがあれば教えていただきたい。

事務局； 「(仮)定住の里づくりアクションプラン・素案」の7ページに、山北地区で特に力を入れていくべきではないかというものを行政案として提案させていただきました。

平成20年、平成21年に地域審議会からいただいたご意見をベースに行政で選択したものですので、これについていろいろなご提言をいただければと思っております。

会 長； ありがとうございます。

副会長； 答申して発表されるのはいつ頃になりますか。

平成24年度から協働のまちづくりということで組織づくり、計画づくりが始まりますが、「定住の里づくりアクションプラン」が早めできれば、それに沿って組織づくり、計画づくりもやりやすいと思います。現在は漠然とした説明の中で協議会の立ち上げを検討しているのでみなさん悩んでいます。できるだけ早めに示していただければと思います。

事務局； 荒川地区でも、まちづくり協議会との関連性について質問がありました。まちづくり協議会はあまり「定住の里づくりアクションプラン」にこだわらず考えてもらって結構です。目指す方向にずれがあった場合は、話し合いをしていきたいと思えます。

地域審議会からは基本的に3月までにご意見をいただきます。その後、意見を平成25年度からの後期計画の材料にしたいと考えております。素案として出させていただいたものにご意見をいただき、来年度「定住の里づくりアクションプラン」を示したいと思えます。

副会長； 組織作りは人手が多く必要ですし、部会分けをして協議していかなければ、まちづくり協議会の組織づくり、事業計画などできない部分もあると思えます。

事務局； 山北地区の協働のまちづくりは、定住の里づくりを目指して取り組んでいくものと思えます。協働のまちづくりと「定住の里づくりアクションプラン」とそれぞれありますが、目指す方向は同じものと考えます。

委 員； 最近、子どもたちが間伐の体験をしたという話を聞きました。現在は山北地域の子どもでも、山を知らない、田んぼを知らないという暮らしになってきています。「定住の里づくりアクションプラン」の中で、地域資源を活かした産業の創設とありますが、高齢化していく中でどうやって若い人たちに伝えていくのかということが、山北地区の大事な課題だと思えます。

会 長； その通りだと思えます。山北地区にとって大事な部分だと思えます。

そのほかありますか。ないようですので次に進みます。

（２）答申に向けての今後の進め方について

会 長； 答申に向けての今後の進め方について、事務局のほうからご説明お願いいたします。

事務局； 今回提案させていただいたものを今後予定しております3回目の地域審議会でご審議いただき、4回目で意見の最終調整をした上で、市長に答申する予定としたいと考えております。今後の進め方についてはこれでよろしいでしょうか。

会 長； 今後の進め方について、事務局からの説明のとおりですがいかがでしょうか。

事務局； 今回説明させていただきましたので、次回までによく見ていただきご意見をいただきたいと思えます。

会 長； 今後は、事務局から説明のあったように進めていくということでもいいでしょうか。

一 同； 異議なし。

委 員； この地域審議会のような委員には、次世代を担う人になってもらいたいと思います。われわれ高齢者が未来を語っても、未来に責任を負えないという不安があります。若い人たちは働いているので日中参加するのは難しいと思いますので、夜間の会議にさせていただき、若い人が参加できる時間帯で会議等の設定をしていただきたいと思います。

会 長； 大変いいご意見をありがとうございました。事務局のみなさん、お願いいたします。

次に進ませていただきます。

5. その他

(1) 山北地区地域まちづくり協議会についての住民懇談会結果と今後のスケジュールについて

会 長； その他について、事務局からの説明をお願いします。

事務局； 【資料『山北地区「協働のまちづくり」取組状況のお知らせ』、資料2、3により説明】

会 長； 住民懇談会の結果と今後のスケジュールについて説明がありましたが、これについていかがでしょうか。

委 員； 山北地区のまちづくり協議会の区割りは、旧村単位ではなく小学校区単位がいいという意見は、住民懇談会全体でどの程度ありましたか。

事務局； 7会場で開催しましたが、事務局で提案した小学校区単位という意見は、PTAの役員をしている方のこれからの子どものことを考え、小学校区単位とすべきという意見がありました。それ以外はどの会場でも旧村単位がいいという意見がほとんどでした。

まだ、まちづくり協議会が漠然とした形でしか捉えられず、不安な部分が多いようで、小学校区単位だと自分たちの意見が通らないのではということがあり、旧村単位という意見が多かったように思われます。

委 員； 住民懇談会に参加した人たちの年齢構成が高かったのではないのでしょうか。

そうすると、自分たちの意見が通らないということで旧村単位という意見になると思います。

本来は小学校区単位で若い人たちが中心となれるものがないはずですが。

事務局； 委員のおっしゃるように、地域にこだわった高い年齢層の方が大勢でした。

委 員； 参加者によると思います。今回のような参加者の意見だと、どうしても閉鎖的な意見になるのではないかと思います。

委 員； 高校生からもいい意見をもらえるとと思います。ですが、1人、2人だけ招いても意見を出せずに終わると思うので、例えば高校生だけを集める機会を作ることでもいいのではないのでしょうか。学校に出向いて意見を聞くというのもあるのではないのでしょうか。

委員； 地域審議会の構成員も若い人を要請するべきだったのではないのでしょうか。

委員； これから高齢化が進んでいくわけなので、若い人だけというわけにはいかないのではないかと思います。

委員； 主役は若い人たち、高齢者は後方支援に回ることが理想だと思います。若い人たちができないこと、隙間を埋めてあげることをしていかなければならないと思います。

事務局； ただいまのご意見は、幅広く意見を聞きなさいというご提言であるということで承りました。ありがとうございました。

会長； これからまちづくり協議会設立準備委員会の中で、議論されていくものと思います。その中でもご協力をお願いしたいと思います。

委員； できる協力はみんなで作っていかなければならないと思います。

会長； そのほかありませんか。

委員； その他ということでお聞きします。7号線勝木地内のう回路跡地について、いろいろな計画づくりをしましたが、いつの間にかどうなったのかわからないような状況になりました。ダメであればダメということで区切りをつけることをせずに、地域づくりだと先へ進んでも、何をしてもいいのかわからないようになるので、もう少し精査していただければありがたいと思います。

事務局； う回路の跡地については、ゆり花会館の玄関を7号線側へということが大前提であり、その他官民一緒になってなにかできないものかと考え、計画づくりをしたものであります。

これからの協働のまちづくりの中で、八幡地区だけの問題ではなく、山北地区の問題として捉えていただきたい。やはり行政主導で発進してしまい、後が続かないということになったのでは意味がありませんので、みなさんに力を出していただき、次のステップにできればと思っております。ですが、当初は相当の金額を使わなければならないという問題もありますので、みなさんと一緒に考え計画づくりをしていかなければならないと思います。

会長； これからの協働のまちづくりの中で議論していかなければならない問題なのではないかと思います。

そのほかみなさんからありませんか。

特にないようですので、事務局へ進行をお返しします。

事務局； 本日はお忙しい中ありがとうございました。全日程終了しましたので、富樫副会長から閉会のごあいさつを頂戴して閉会とさせていただきますと思います。

副会長； ありがとうございました。「定住の里づくりアクションプラン」のようなものを、長期的に考え、行動をしなければならぬと思っております。これからまだまだ大変ですがよろしく申し上げます。

本日は大変ありがとうございました。

6. 閉会 (15:00)